

～3月議会定例会冒頭挨拶～

令和3年3月8日

令和3年第2回大町町議会定例会を召集いたしましたところ、議員の皆様には、時節柄何かとご多用の中、ご参集賜り厚くお礼申し上げます。

今議会に提案します各議案の提案理由を申し上げる前に、行政上の事項、主要施策等について、簡単に触れさせていただきたいと思います。

令和元年5月に町長として、2期目の町政を任せていただいてから、早いもので1年と10か月が過ぎました。

一昨年は佐賀県を中心とした大雨により、大町町は甚大な被害をこうむり、多くの方々が被災をされました。

そのような中で、議員の皆様、職員一同、チーム大町として、被災者への支援や、災害からの復旧・復興に全身全霊を傾けてきたところでございます。

町としましても、大災害を教訓とし、防災減災対策をはじめ、様々な施策を通して「町民が暮らしやすい安心安全な町づくり」を目指してきました。

特に、個別防災ラジオや最新の防災マップを全世帯に配布し、町民の皆様からも喜びの声も聞きますし、救命ボートの配備や水没したポンプ場に防水壁を

施すなど、防災力の向上につながったものと思っております。

今後も引き続き、災害対応に不可欠な「自助、共助」が円滑に実践できるように「地域の絆づくり事業」と併せ、ハード、ソフト、両面にわたって、町民の皆様命を守るという使命のもと、更なる防災強化に努めていきたいと考えております。

なお、本年 11 月には、畑ヶ田地区に誘致しました日本レスキュー協会が開設されることになっておりますが、NPO 等災害支援団体の拠点として活用できる町有施設も併設できたらと考えており、現在交渉を続けているところでございます。

これが実現できれば、町内外に向けた災害支援拠点として、他市町にない機能を発揮することが出来るものと期待をしているところでございます。

加えて、地域で作る自主防災組織や消防団、職員等の実践的なスキルアップに努めるなど、「自助」「共助」「公助」の三つの力がうまく絡み合う体制の構築を目指したいと考えております。

さて、去年は、開けて早々、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、コロナとの戦いに終始した 1 年でありました。

ちょうど 1 年前の 3 月定例会では、佐賀県内では、うまくコントロールでき

ており、確か発症者はゼロだったと記憶しておりますが、今では、1000人を超える陽性者が確認をされております。

この驚異的な感染拡大を抑えるための切り札として、ワクチン接種に期待が集まる中、大町町でも感染防止対策の一環として、接種を希望する町民の皆様への「ワクチン接種」が、今年の重要な仕事となります。

ご存知の通り、国の情報も、まだまだ不透明感はぬぐえず、町としましては、町民の皆様には不確実な情報発信は控えたいと思っており、去る2月1日付で、職員をもって「ワクチン接種対策プロジェクトチーム」を設置し、正確な情報を取捨選択しながら、町民の皆様に安心して、かつ円滑にワクチン接種を受けていただけるよう体制を整えているところであります。

また、町内4医療機関の先生方とは、連携会議を通して、安全かつ効率的に接種を実施できるようご協力とご助言をいただいております、今後も継続して連携していく事としています。

現在、県の主導で、医療従事者へのワクチン接種が始まっており、大町町の役割としては、まずは65歳以上の高齢者へのワクチン接種を念頭に体制を合わせていく事にはしていますが、現時点では、ワクチンの確保が”さみだれ式”になることが予想されることや、基礎疾患、既往症等に対する副反応、アナフィラキシー等への対処を考えると、大町型の接種対応として、かかりつけや身近な

病院での「個別接種」をメインに、「集団接種」はその後臨機に対応していきたいと考えており、議員の皆様にもご理解をお願いしたいと思います。

次に、私が 2 期目の公約としておりました買い物環境の改善策としての「巡回バス」の運行につきましては、新年度の早い時期を目途に実施ができるものと思っており、名称を「まちバス」とし、6 ヶ月程度の実証運行を経たのち本格運行を考えております。

また、町民生活に関わる生活環境の改善の一環として、昨年 10 月に 4 年ぶりに土木調査を行い、地区の実情をお聞きしたところでありますが、公共性、緊急性等を勘案し、出来る事、出来ない事、選定のうえ、町としてやらなければならない事を順次、整備していきたいと思っております。調査結果は、当該区長さんに出来るだけ早い時期にお知らせいたします。

それから、今年は、町の活性化に不可欠な産業の振興として、キュウリハウスの園芸団地構想に続き、南面傾斜の豊かな中山間地を活用した新たな産地づくり、特産品づくりプロジェクトの実現のため、サウンディング式市場調査により、民間に広く意見や提案を求めることによって、有用なアイデアを募り、提案者自らが、その事業主体となって熱意をもって、プロジェクトの実現を目指していただける、そのよう事業を選定できればと思っており、出来るだけ早い時期に公募を開始したいと考えております。

また、町の重要な財源となっております「ふるさと納税寄付金」は、令和2年度も、全国から多くの方々の応援を受け、およそ8億円のご寄付をしていただきました。

全国の皆様のご厚意に、心から感謝するところでございます。そのご意向を踏まえ、有意義に活用させていただきたいと思っております。

最後に、令和3年度も、引き続き「子育て支援」や「絆づくり事業」、「定住移住促進」など、継続かつ充実させながら、「大町町に住みたい」「子育てするなら大町で」と思ってもらえるような町づくりを目指していくと同時に、大町町の抱える課題にも、しっかり向き合いながら対応していかなければならないと考えているところでございます。

議員各位におかれましては、趣旨ご理解の上、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。